



学校だより 7 月

“桜川 学びのエリア : 桜川中・桜川小”

令和7年6月30日
板橋区立桜川小学校
No.4



嬉しさ いろいろ



校長 八代 麻子

* 朝、登校してくる子どもたちに「おはようございます。」と挨拶をしています。用務主事も一緒に正門に立って登校の様子を見守り、教員は教室で子どもたちを迎えています。ある月曜日の朝、いつものように挨拶をしていると、一人の1年生が近付いてきました。登校班での登校中に何かあったのかなと思い、目線を合わせたところ「頑張ってください。」と一言。隣に立っていた用務主事の方にも歩み寄って、同様に一言。予期せぬ言葉が嬉しくて、「うわあ、伝えてくれてとっても嬉しかった。ありがとう!」と声を弾ませました。用務主事も、顔をほころばせながらも驚いた様子でした。

月曜日は、全校朝会があります。その日に予定していた話の内容はすっかり飛んでしまい、朝の出来事と言葉のもつ力について話しました。

各学年・学級においては「キラキラ言葉とチクチク言葉」をそれぞれ挙げて、自分の言動を振り返ったり、相手を思いやる言葉かけの仕方を考えたりと、発達の段階に応じた取組を行っています。また、道徳科を中心とした教育活動全体を通じて「こころの教育」も推進しています。今後も、子どもたち一人ひとりが前向きになれるような指導・支援を継続して実践してまいります。

(その後は、他学年の子どもたちも「今日も頑張ってください。」と応援の言葉をかけてくれます。挨拶だけで十分と全校朝会で伝えましたが、話を聞いていたのねと、一層嬉しくなりました。この頃は「お互いに頑張ろうね。」と伝えています。)

* 言葉の力を付けていくために、読書も大切にしたいと考えています。さくらっ子応援団の方々による、読み聞かせや図書室内の装飾・学期ごとの読書週間・図書委員による、図書室前の掲示(クイズ、おすすめ図書の紹介)や読み聞かせ・図書館司書による、日常的な読書推進活動や環境整備…。そして、全学年・学級の図書室利用の時間確保。

こうした様々な取組の成果が数値として表れ、「児童一人あたりの貸出冊数(令和6年度)」が79.6冊で、区内小・中学校の中で最多でした!2番以下ではダメということではありませんし、過程も大事であることは重々承知しています。でも、日頃からの地道な取組を知っているからこそ、1番はやはり嬉しいことです。毎月の、地域コーディネーターの方々との打合せの際、先に報告したところ「嬉しいですね!皆さんの励みにもなります。」との感想がありました。言葉で伝え合うことの喜びも感じました。

ICT機器や一人一台端末の有効活用により、個別最適な学びの実現を目指して教育活動を進めていく中であっても、アナログの部分も大事であるという認識をもち、デジタルとの融合を図りながらの教育実践を進めてまいります。

【お知らせ】4年生以上の算数少人数指導を担当している教員が、7月8日から産休に入ります。後任者は決定しております。明日(7月1日)から勤務しますので、算数専科教員が産休に入るまでの期間に「指導内容・学習進度」などについての引継ぎを行い、混乱のないよう体制を整えてまいります。